

伊豆メガソーラーパーク合同会社
代： 朴 聖 龍 殿

H29年8月31日
名鉄赤沢自主防災会
会長 白石 善久

貴社回答に対する再質問及び追加質問

2017.8.4付け貴社回答ありがとうございました 弊方にて検討の結果、確認が必要、根拠の説明がない、事実誤認、過去に提示の数値と大幅に違う等がありましたので、再質問いたします また新たに7件の質問を追加しました 全ての回答を9月30日必着で宜しくお願いいたします

- 再 A-4 懸念される災害は土砂災害、水害との回答 これ以外にも景観問題、獣害等々懸念される災害は沢山あります
貴社が認めた懸念災害について、残置森林を52%から57%へ増加させたことで、懸念が払拭されるとお考えですか
貴社は懸念される災害については、未然に防ぐことを責務とすると謳っています その発生頻度やそのマグニチュードが、森林を伐採する前のレベルを上回らないようにすることが、事業者の責務です
- B-1 ・沈砂池でろ過出来る個体の最小大きさは？
・工事中は調整池にろ過装置、板状フィルター、濁水処理装置、高分子マイクロフィルターを設置するとありますが、放流水の水質の具体的レベルはどのようになりますか
・50年と100年の降雨強度は大きくは変わっていませんが、設計は全て100年の降雨強度ですか
・天城山のデータは設計に使用されていますか
・調整池は100年降雨強度で耐えられるのは何時間ですか それを超えるとどのような現象が起こるのですか
・一回当たりの予測浚渫量はどのくらいですか
- B-2 県及び市の規定に基づき設計しているとの回答を換言すればゲリラ豪雨や線状降水帯が襲来した時のことは何も考えていないと受け止めます 人道的観点からも回答の見直しが無ければ白紙撤回以外はありません
- B-3 具体的論拠がありません 重要な関心事であるので、繰り返し深層崩壊及び表層崩壊に対して安全な計画であるとの具体的論拠を求めます
- B-4 具体的論拠がありません 重要な関心事であるので、繰り返し調整池は絶対壊れないとの具体的論拠を求めます

- B-5 八幡野川の流下能力について8.8m³/sは3/24付け資料の8m³/hと大幅に違っています
- B-6 沈砂池処理前後の水質データを提出して下さい
- C-1 区域が違うから名鉄赤沢別荘地の水源への影響はないと断言していますが、地下深い所で、両者の水脈が絶対につながっていない証拠となるデータを源泉(無回答)も含めて提出のこと
- C-2 残置森林に降った雨は一部は地中に浸透、一部は蒸発、残りは敷地外へ流出します もし水脈がつながっていれば、水源及び源泉に浸透水が混入します よって伐採前後での浸透水の比率を尋ねています 水脈はつながっていない、あるいは浸透水の比率は変わらないという論拠が明確ならば説明して下さい
- C-4 種子吹付をするとき、現在、肥料の使用は考えておりませんとの回答 将来的にも肥料は使用しないと宣言すべき
- D-1 伊雄山に鹿や猪がいないという認識は明らかに事実誤認です 被害が出たら駆除する対症療法ではなく予防策を考えて下さい
- E-2 主要なビューポイントからの完成予想図はいつ出来上がるのですか？ その中に伊雄山山頂及び名鉄赤沢別荘地の中で一番よく見える住居からの完成予想図を必ず入れて下さい
- E-3 強風によるソーラーパネルの飛散を一番危惧しています 最大風速何メートル毎秒まで耐えられますか
- E-4 環境アセスが不要な規模になるよう計画したのは知ったの上での質問です 貴社の姿勢が判りました
- E-8 気温上昇に関する検証済みの実験内容とデータを提示して下さい
- E-10 ソーラーパネル反射光が届く範囲を示す図面はいつ出来上がるのですか
- F-4 資産価値は低下しないと考えているとの回答ですが、断言していない表現に真実が隠されていると推察されます

新 G-1 8/17市主催の地元住民と事業者の意見交換会にて話題となった工事中の土砂災害防止について、一番小さな調整池3から順次工事を進めていくので問題ない旨の答弁をされていたと記憶しておりますが、十分理解できなかつたので改めて質問します 工事中の崖崩れ、土砂の流失、地盤の沈下、および溢水等による災害をどのように防止するのか、具体的な防止策並びに工事の順番及び各工程の工期も含め説明して下さい

- G-2 森林は樹木が集合しているから強風にも耐えられることは常識です 樹木を伐採し森林の中をくりぬいた場合、この地区特有の”ならい”により内側から順次倒木して残置森林幅30mの確保はおろか、さらにすすんで0mの個所が現れることを心配します 近い将来残置森林率が50%を下回ることも予測されます このような予想に対する貴社の考えを聞かせて下さい このようなことは起こり得ないと考えるならその論拠を説明して下さい
- G-3 ボーリング調査結果が本計画にどのように織り込まれているのですか 例えば、最大の調整池の杭の太さ、長さ、本数のデーター それとも掘込池には杭は打たないのですか
- G-4 函南、鎌田、伊豆高原の中から伊豆高原を選んだ経緯は伺いました 何故伊豆半島を立地として選択されたのですか
- G-5 ハンファエナジー会社が日本で事業している太陽光発電所は計画を含めて13社と伺いました 全てnetに掲載していることも伺いました URLを教えてください 世界の実績のURLもお願いします
- G-6 南海トラフ巨大地震が発生した場合の伊東市における最大クラス震度は6強と推定されております 貴社が設置するメガソーラー関連設備は震度6に耐える設計になっておりますか
- G-7 椎の木三本の近くに設置されている赤茶けたループ橋は貴社の所有であることが判りました メガソーラーとは直接関係はありませんが、巨大地震で倒れて下の市道を塞ぐような事故が発生したら、名鉄赤沢地区は救援物資も受けられない状況に陥る可能性があります そこでループ橋の設計震度を教えてください

以上